

2017年2月3日

報道各位

武田産業株式会社

ノーパンク自転車“チャクル”
先進的物流施設の働く環境の充実に向け活用へ

武田産業株式会社（本社 千葉県柏市、代表取締役社長 武田英世）は2月3日、先進物流施設を提供する国内最大手のグローバル・ロジスティック・プロパティーズ株式会社（以下、「GLP」）が首都圏の主力施設として新たに開発した「GLP 柏 II」（施設面積3万3千㎡、千葉県柏市）にノーパンク自転車“チャクル”を納入することになりましたので、お知らせします。

パンクしない自転車“チャクル”はその特性を活かし、B2Bでは大手鉄道会社、工場、通運会社（エコ配送）、地方自治体（災害対応）などで利用されていますが、物流施設での活用は初めてのケースとなります。

パンクをせず耐摩耗性（約1万km）に優れる“チャクル”の特性がGLPによって見直され、災害のリスク管理対応だけでなく普段においても3万平方メートル超の広大な施設に入居するテナント企業で働く方々の移動手段や近接する大型スーパー「セブン・パーク」への移動手段としての利便性を提供します。

武田 英世社長は、「今回近代的な大型物流施設に“チャクル”が導入されたことを大変嬉しく思います。GLPのロゴカラーのタイヤにするなど特別仕様で、働くみなさまが休み時間を活用して走行しリフレッシュしてもらえればと思います」と感想を述べています。

“チャクル”は約1万キロの耐摩耗性を持ちパンクしないで走行できるなど、ストレスやメンテナンスフリーで2017年はスポーツバイクのHead Chacle、電動アシストチャクル、シニア（および災害時）向け3輪車などの新商品を4月から随時発売予定です。

武田産業は今後も企業、消費者にとって環境に優しく、耐久性に優れ、経済性の高い安全な商品を提供し、日本での自転車文化の普及に努めて参ります。

以上

写真 GLP 柏 II に導入されたパンクしない自転車“チャクル”



武田産業株式会社について

武田産業株式会社は、昭和 24 年創業の 68 年の歴史を持つ自転車・サイクルパーツの卸売販売会社です。自社ブランドのノーパンクタイヤを装着した「CHACLE=チャクル」を主力商品とし、全国に 8 か所の拠点を持ち、効率性の高い物流およびスピーディなサポート体制を構築し、お客様のコストや時間の削減、安全・安心の商品の提供を目指しています。"自転車を文化に"をスローガンに、自転車を単なる交通手段としてばかりではなくスポーツ・レジャー・生活の一部として欧米のように文化として定着することを企業使命として、自転車の地位向上のために積極的に啓蒙活動を行っています。

【本件に関する問い合わせ先】

武田産業株式会社広報担当：上野 03 (5532) 8921,メール e-ueno@ifcpr.co.jp